



shaping tomorrow with you

Exostar

MAG/ForumPass 操作説明資料 (一般ユーザー編)

富士通株式会社

2019年11月

Ver. 1.0

目次

1. 本書の概要	2
2. Exostar 概要	3
3. 操作紹介	4
3.1. MAG とは	4
3.1.1. ログイン	5
3.1.2. アナウンスメンツ（ホーム）	7
3.1.3. マイアカウント	7
3.2. ForumPass とは	8
3.2.1. ホーム画面	8
3.2.2. ページの編集	8
3.2.3. 部品	11
3.2.4. サイト設定	12
3.2.5. アプリの種類	13
3.2.6. サイト構成の例	14
3.2.7. パーミッションによるアクセス制御	15
3.2.8. ドキュメントライブラリの作成	17
3.2.9. ドキュメントライブラリの削除	18
3.2.10. ファイルの登録	19
3.2.11. ファイルの削除	21
3.3. DRM とは	22
3.3.1. DRM 設定	22
3.3.2. DRM ファイル登録	24
3.3.3. DRM ファイル表示	25
3.3.4. DRM ファイル編集	27
3.3.5. ローカルコピーの利用	28
3.4. ファイル操作ログの表示	30

版数	発行日	改版履歴
1.0	2019.11	初版発行

1. 本書の概要

本書は、ユーザーが Exostar ForumPass(以下、FP とする)サービスを使用して情報共有を行うために知っておきたい、サービスの概要及び基本的な操作について説明しています。詳しい操作方法は、ForumPass6 ユーザーガイドをご参照ください。

2. Exostar 概要

◆Exostar とは

欧米の航空宇宙・防衛産業において調達手続きや情報交換・共有システムで標準的に活用されているハイレベルなセキュリティサービスです。

特に ID 取得において身元確認(プルーフィング)を行っており、不審なユーザー排除、トレーサビリティを確保しております。

本サービスは DFARS で要求される NIST SP800-171 要件に準拠しており、米国政府調達のフローダウン商談で適用された実績があります。

◆適用のポイント

- ・ 米国政府による NIST 対応認定を受けております。
- ・ 特徴として、2 要素認証、細かなアクセス権限設定、トレーサビリティ、DRM(デジタル著作権管理)等があります。

◆Fort#Forum で対象とする Exostar のサービス

- ・ IDENTITY MANAGEMENT(MAG) :
Exostar ネットワーク基盤にログインするための認証・アクセス権管理の機能です。
- ・ SECURE COLLABORATION(ForumPass Defense) :
DRM が使用できる情報共有サービスです。SharePoint ベースで構築されています。

3. 操作紹介

3.1. MAG とは

MAG は Managed Access Gateway の略です。EXOSTAR 社が提供するサービスで、業界で共通に通用する「アイデンティティ認証」を行い、各社の提供するアプリケーションへの入口を Identity Hub によって制御します。

各種アプリケーション

<http://www.myexostar.com/default.aspx>



アプリケーション

<p>Identity, Credentialing, and Access</p> <p>Connect Once. Collect Once. Certify Once.</p> <ul style="list-style-type: none"> Managed Access Gateway (MAG) <ul style="list-style-type: none"> DOD Common Access Card (CAC) Enterprise Access Gateway (EAG) Federated Identity Service (FIS) One-Time Password (OTP) ProviderPass Secure Access Manager (SAM) <ul style="list-style-type: none"> Digital Certificate Service (DCS) 	<p>Supply Chain Management</p> <p>Maximize visibility and redeploy resources to critical tasks while improving your order response and fulfillment cycle times.</p> <ul style="list-style-type: none"> B2B Integration SourcePass Secure Source-to-Pay (S2P) Supply Chain Platform (SCP)
<p>Secure Collaboration</p> <p>Securely and compliantly share business sensitive information internally and externally</p> <ul style="list-style-type: none"> ForumPass Information Manager 	<p>Risk Management</p> <p>Empower organizations to mitigate risk throughout their supply chain ecosystem.</p> <ul style="list-style-type: none"> Partner Information Manager (PIM) PolicyPro Supplier Portal Vendor Quality Manager (VQM)

カスタマー各社の用意しているアプリケーションも多数あります。

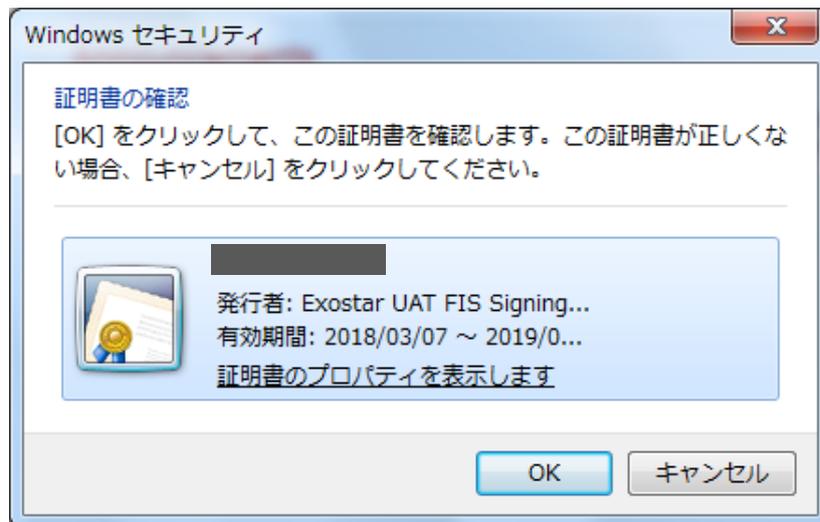
3.1.1. ログイン

1) 以下よりサイトにアクセスします。

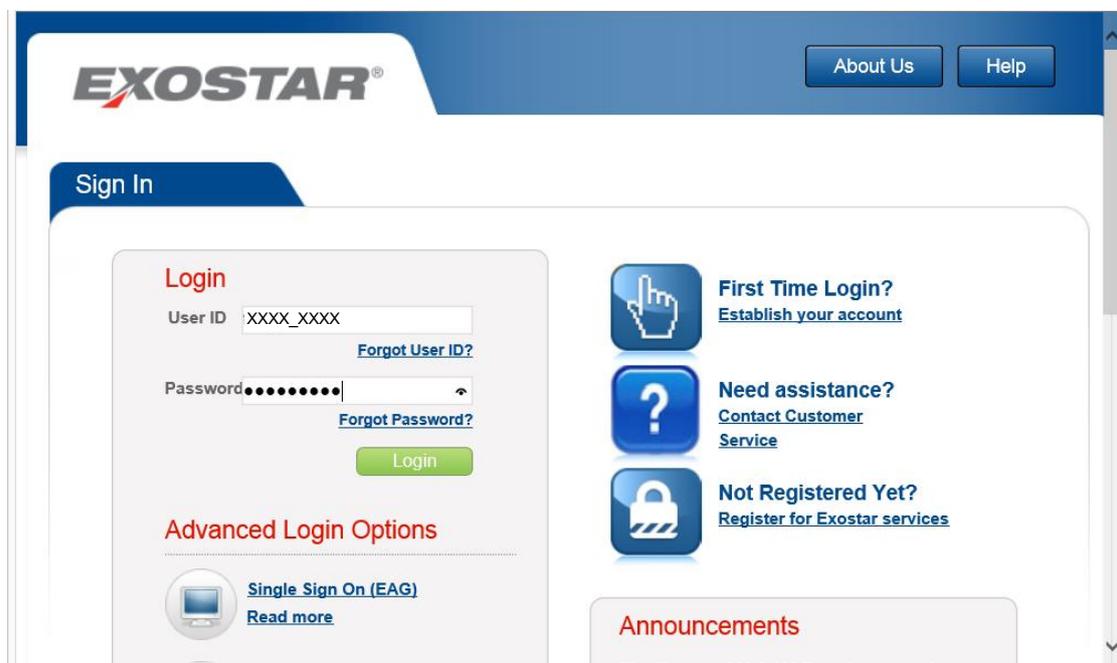
<https://portal.exostar.com/>

◆電子証明書による2要素認証

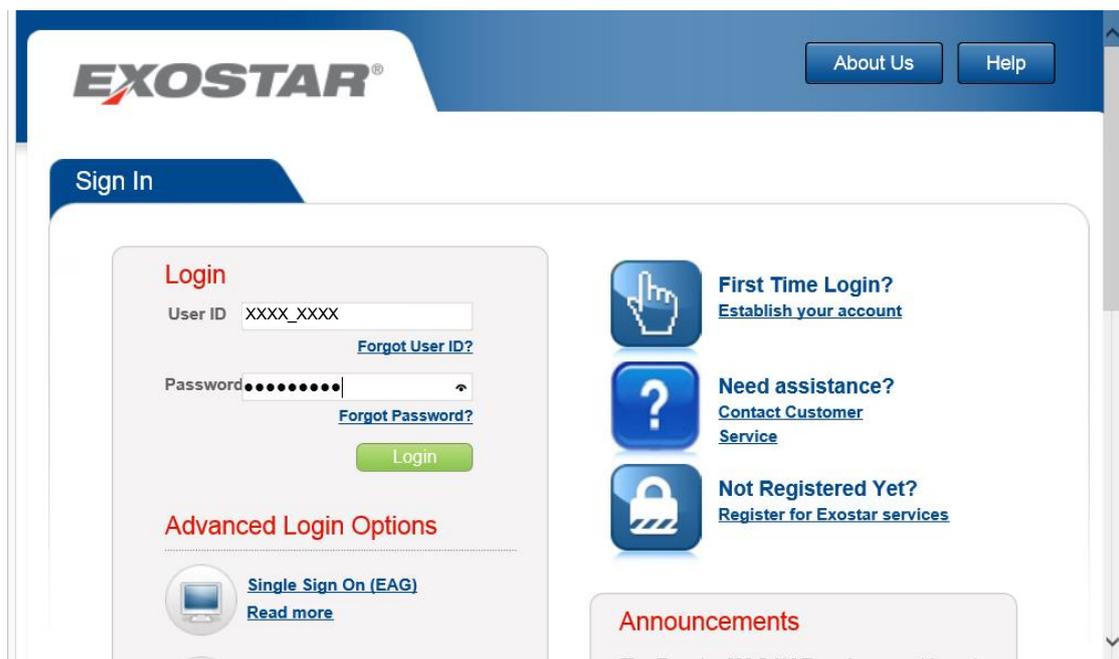
2) 電子証明書を選択します。



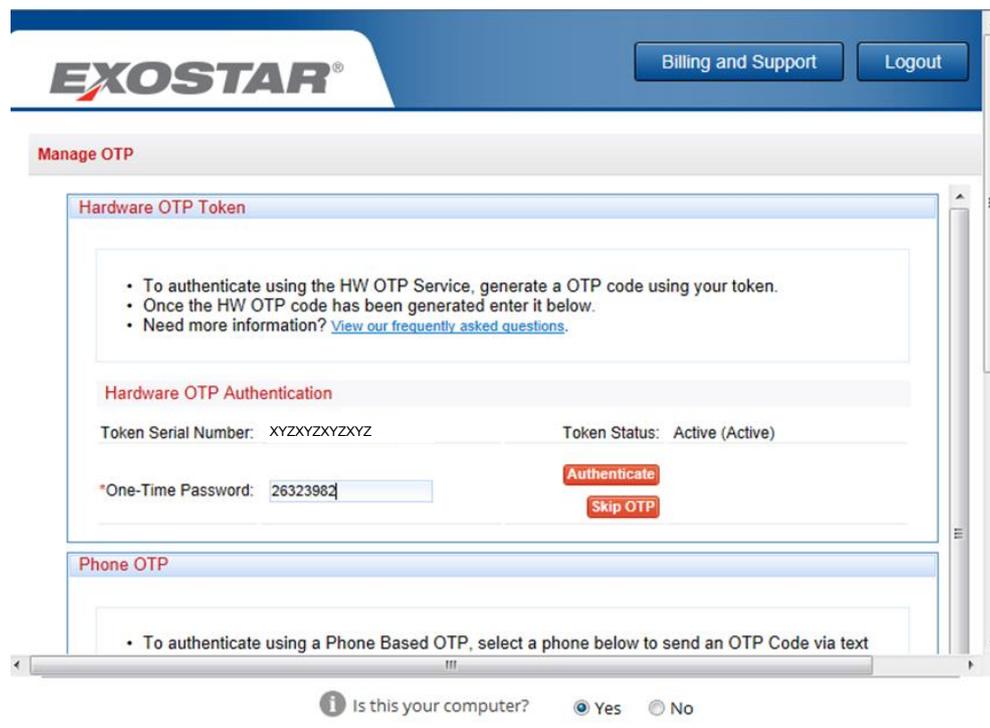
3) ユーザーID、パスワードを入力してログインします。



- ◆ワンタイムパスワードトークンによる2要素認証
- 2) ユーザーID、パスワードを入力します。



- 3) ワンタイムパスワードを発行して入力します。



ワンタイムパスワードトークン画像



※他にスマートフォンにワンタイムパスワードをSMSで送付する方法もあります。

3.1.2. アナウンスメント (ホーム)

MAGに関するステータス表示、アカウント情報の編集等が可能です。

3.1.3. マイアカウント

アカウント情報の確認や編集が可能です。

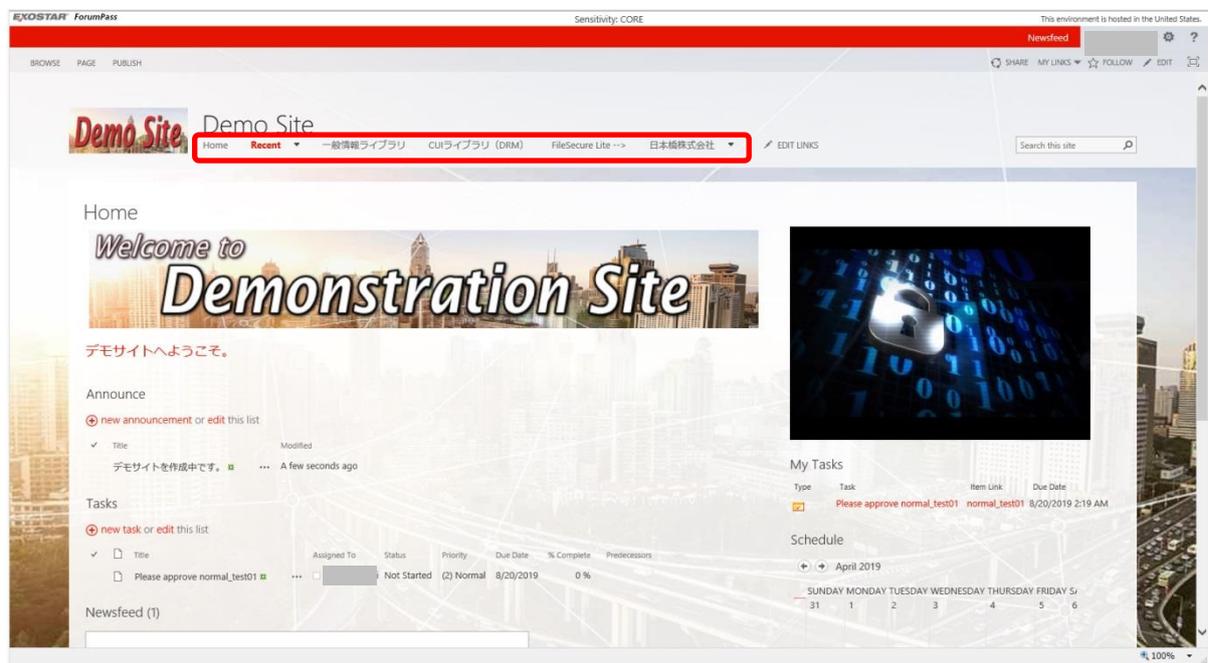
3.2. ForumPass とは

Exostar のデータ共有やコラボレーション機能を実現するサービスです。ForumPass、ForumPass Defense は、マイクロソフトの SharePoint をベースとする世界標準仕様となっています。Rights Management Protection(デジタルデータ保護機能)を保有し、ダウンロードしたデータも暗号化され、2要素による認証が検証されない限り開けないという環境を提供します。

以下、デモサイトを使用して ForumPass の操作例をご紹介します。

3.2.1. ホーム画面

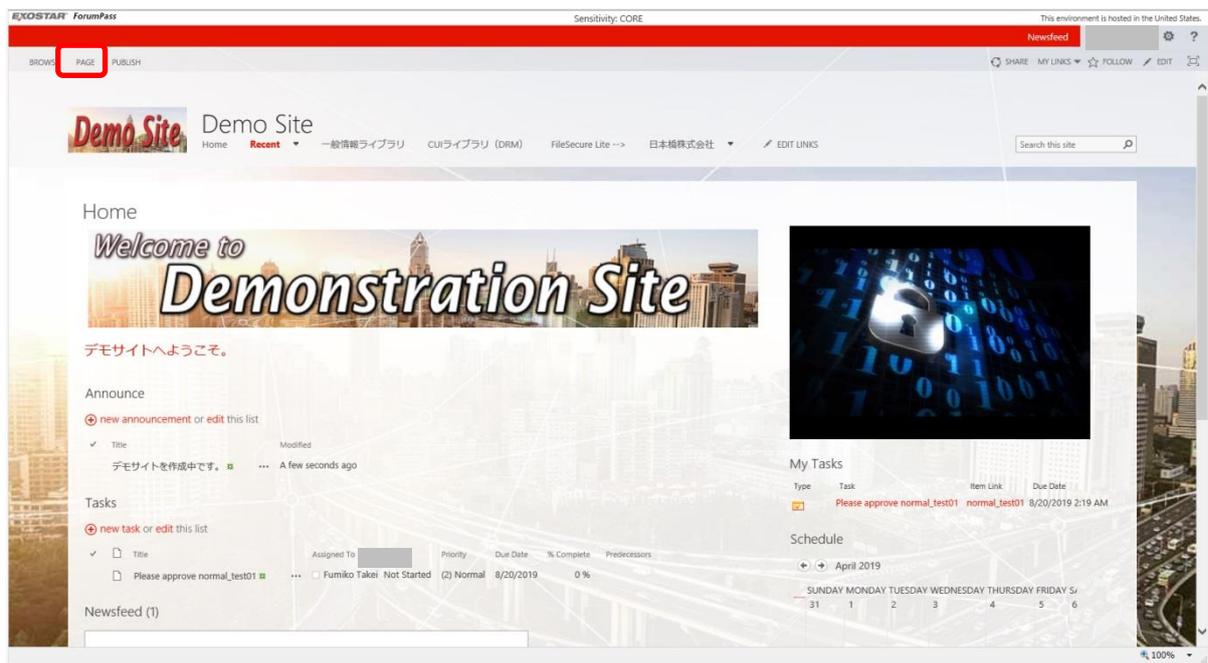
ホーム画面は組織のポータルページです。このページから組織ごとのサブサイトに移動したり、CUI を共有するライブラリにアクセスしたりすることができます。



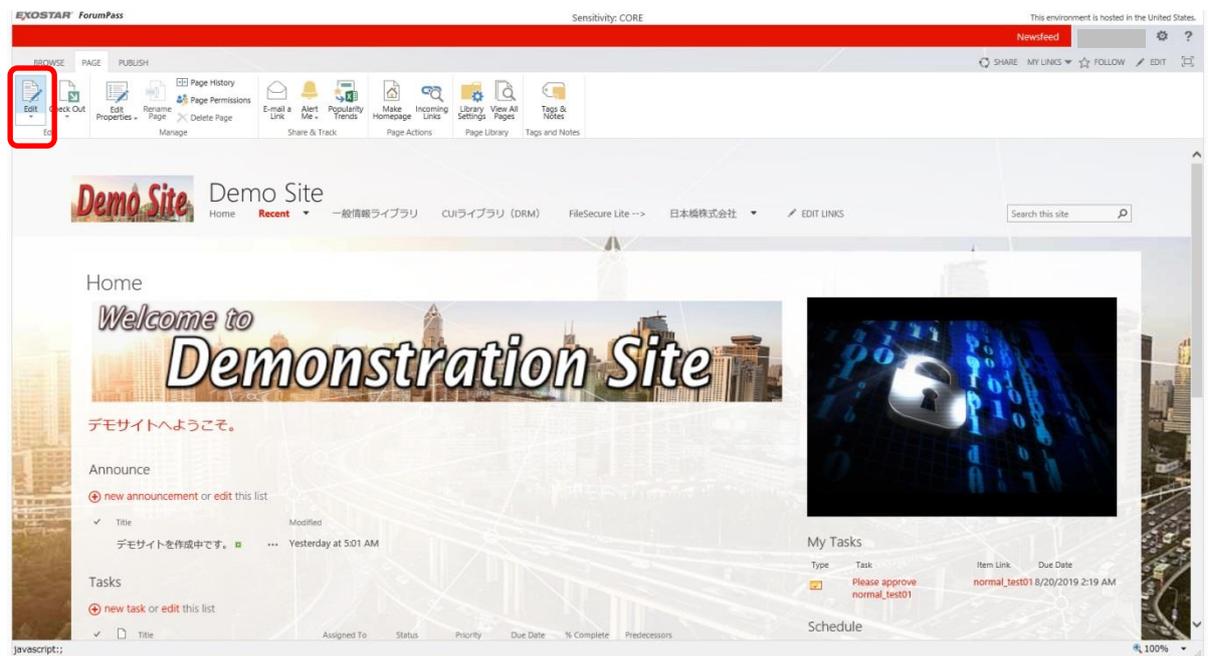
3.2.2. ページの編集

- ・WORD ライクな操作性でページの編集が可能です。
- ・パーツを追加することによりさまざまな機能を登録できます。
- ・編集履歴が残り、バージョン管理が可能です。

1) Page ボタンをクリックします。

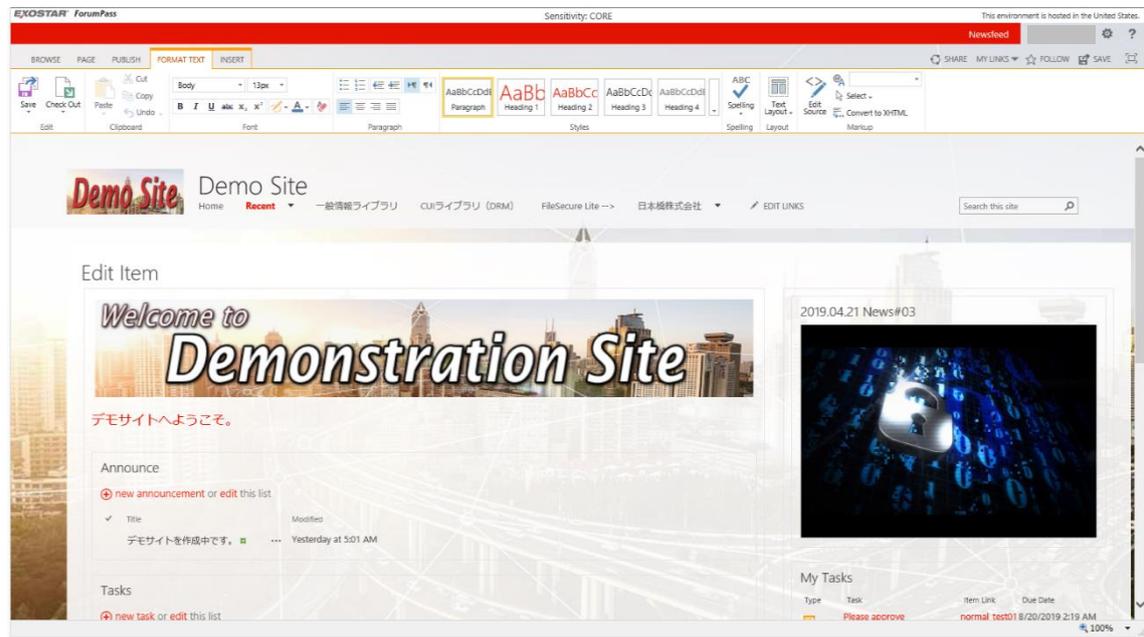


2) Edit ボタンをクリックして、編集モードに移行します。

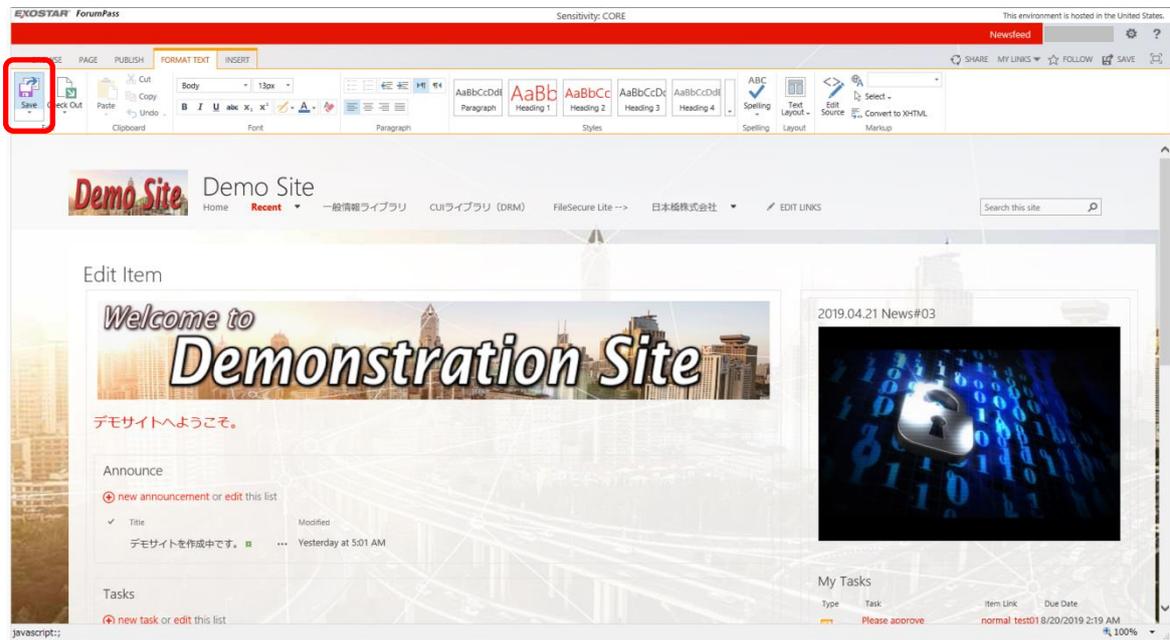


3) 編集画面

文字の入力や修飾、イメージや表等の追加、部品構成設定等の編集を行います。

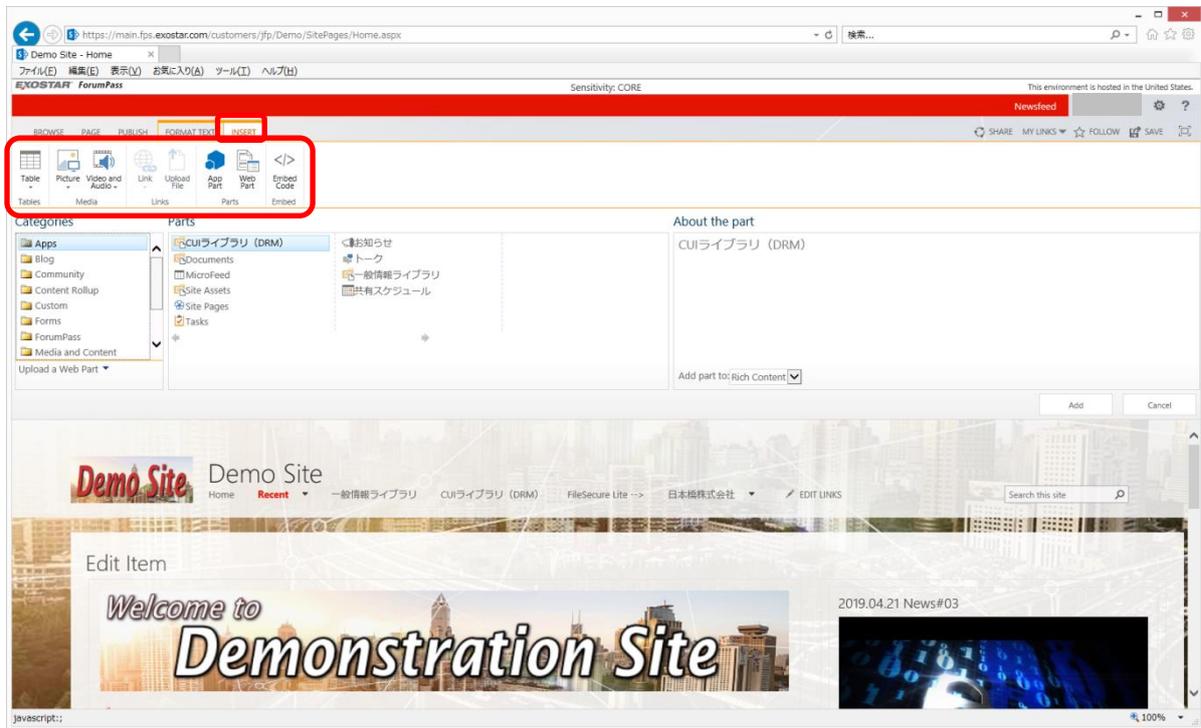


4) 編集結果を保存して終了です。



3.2.3. 部品

テキスト、イメージ、動画、アプリパーツ、Web パーツなどいろいろな部品を挿入できます。



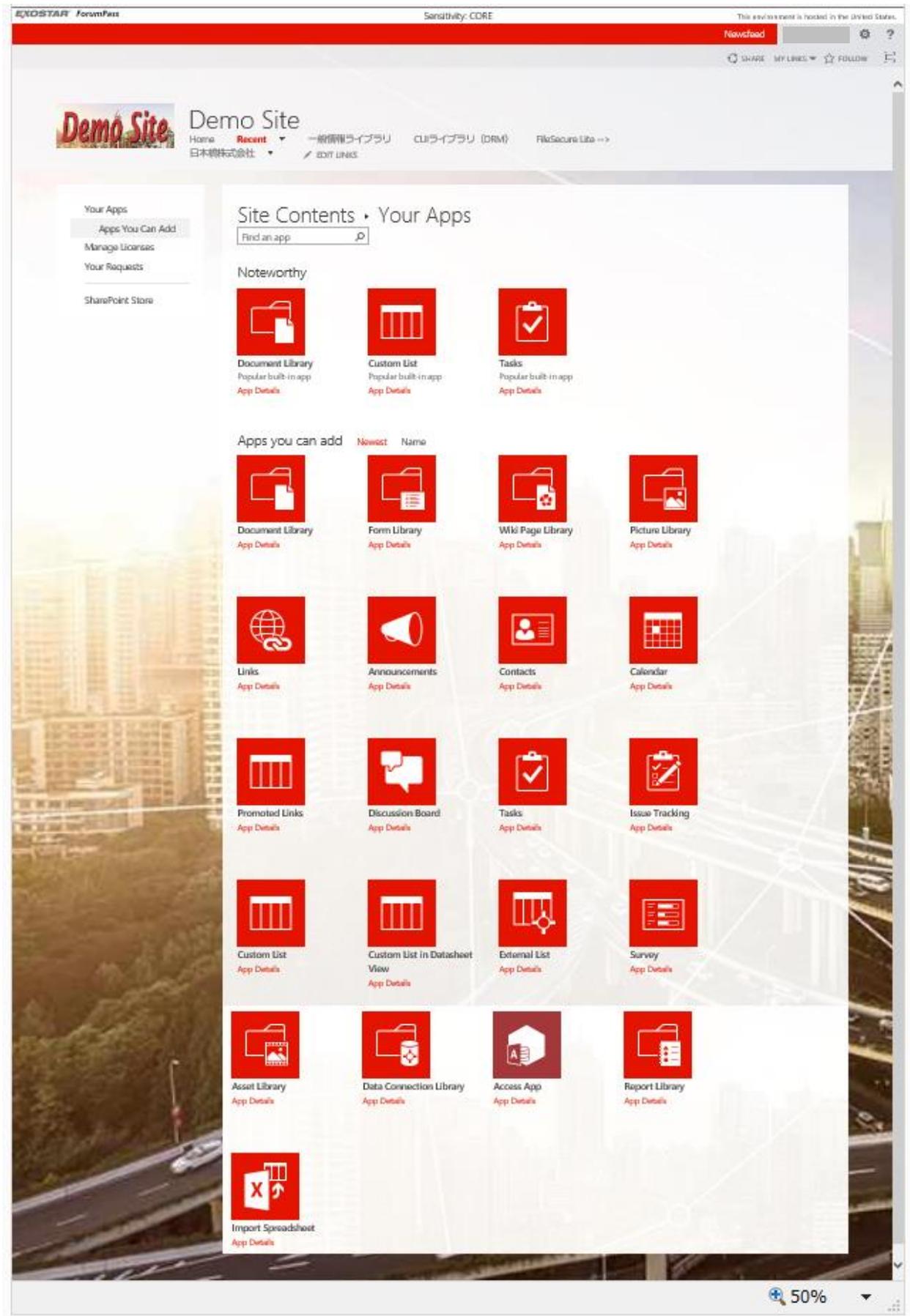
3.2.4. サイト設定

サイト設定(Site Setting)で各種設定を行います。

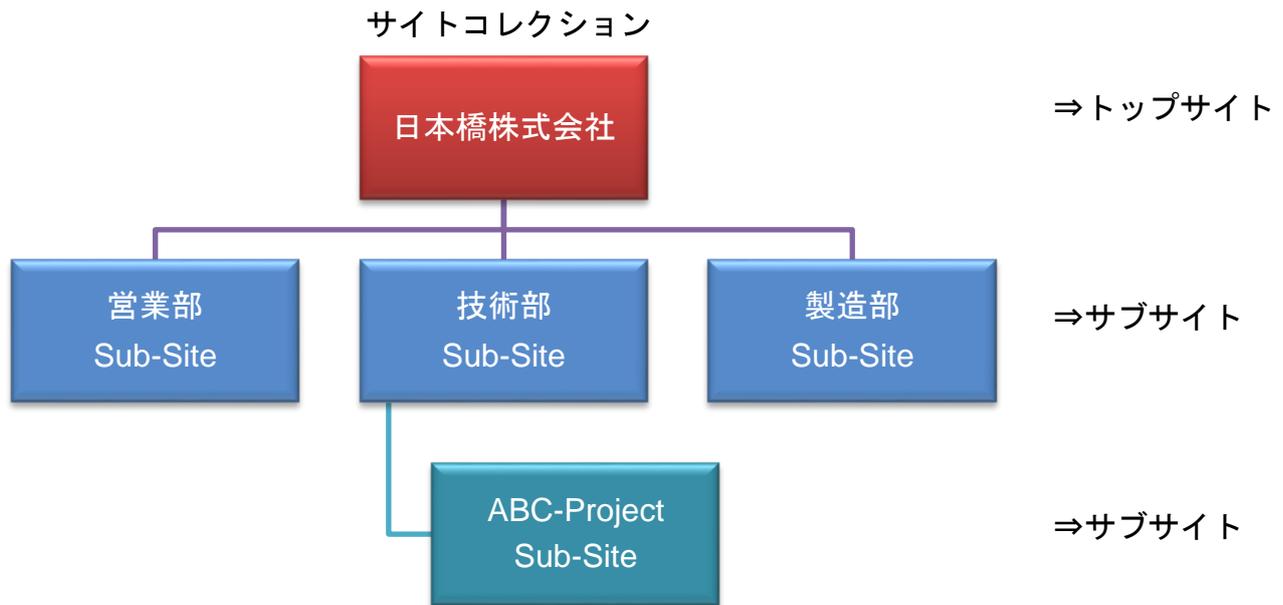
ユーザーや権限の設定、サイトの基本デザイン、サイト管理、見栄えの設定等のメニュー一覧です。



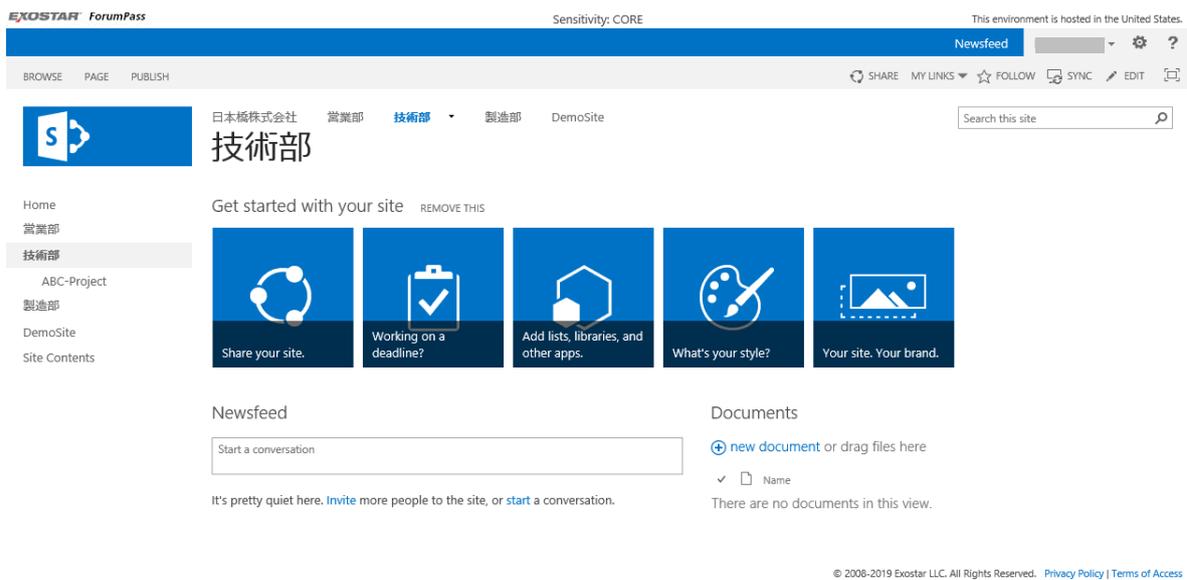
3.2.5. アプリの種類



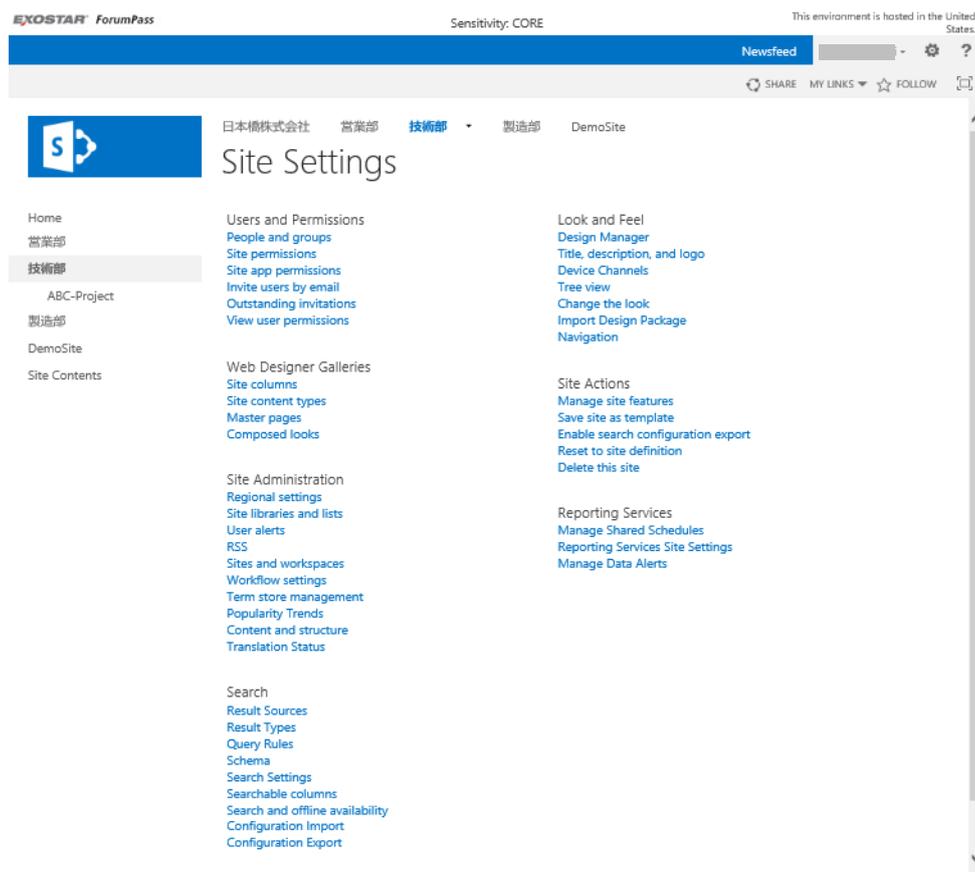
3.2.6. サイト構成の例



サブサイト画面例

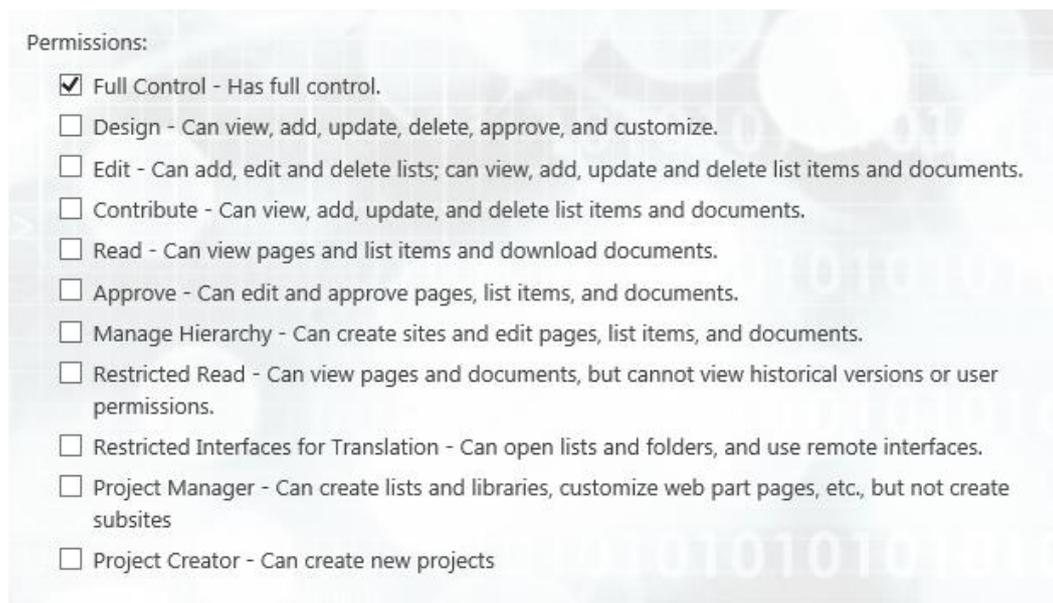


サイト設定画面

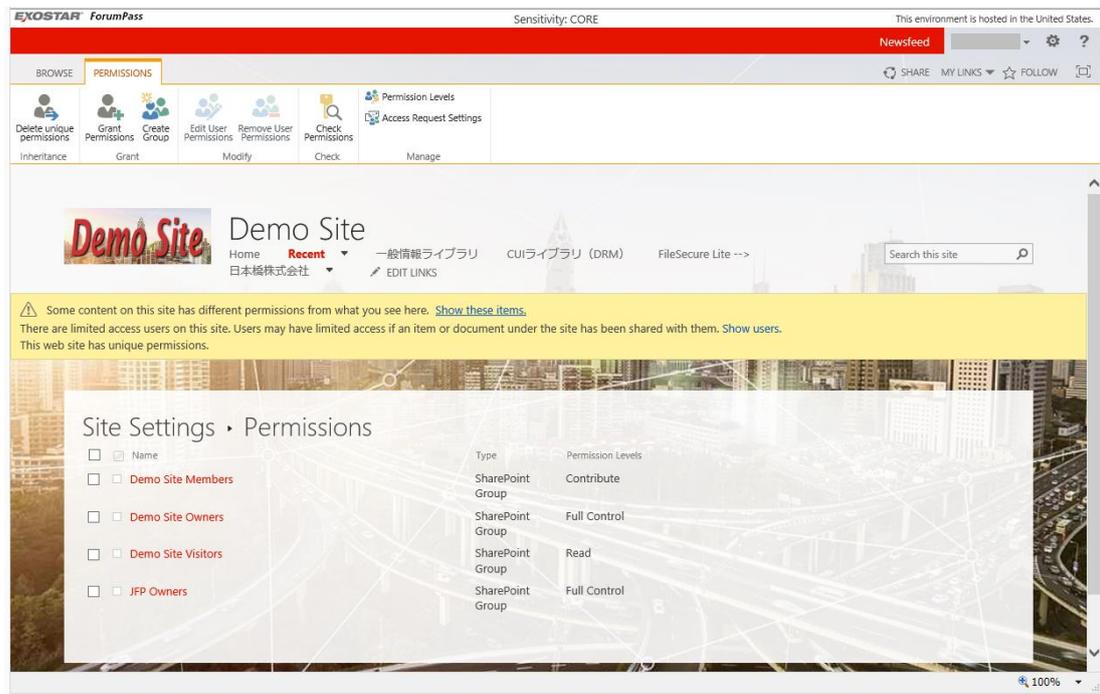


3.2.7. パーミッションによるアクセス制御

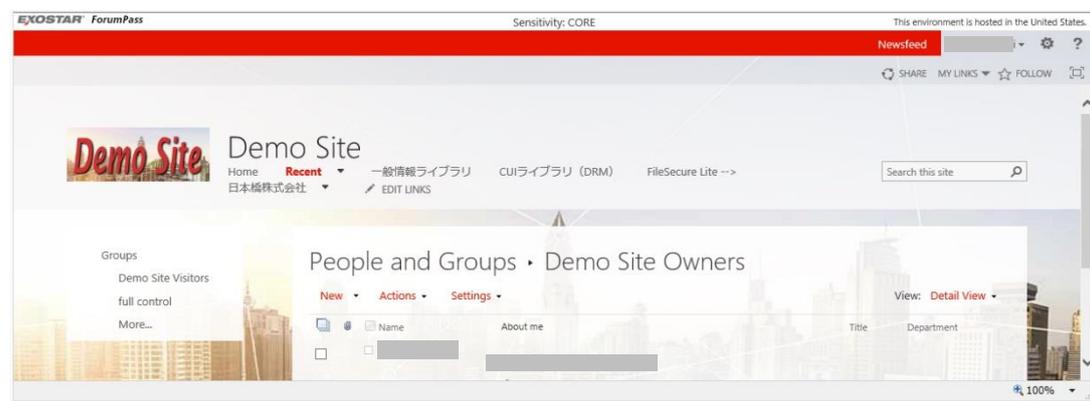
サイト設定により、きめ細やかなパーミッション設定が可能です。



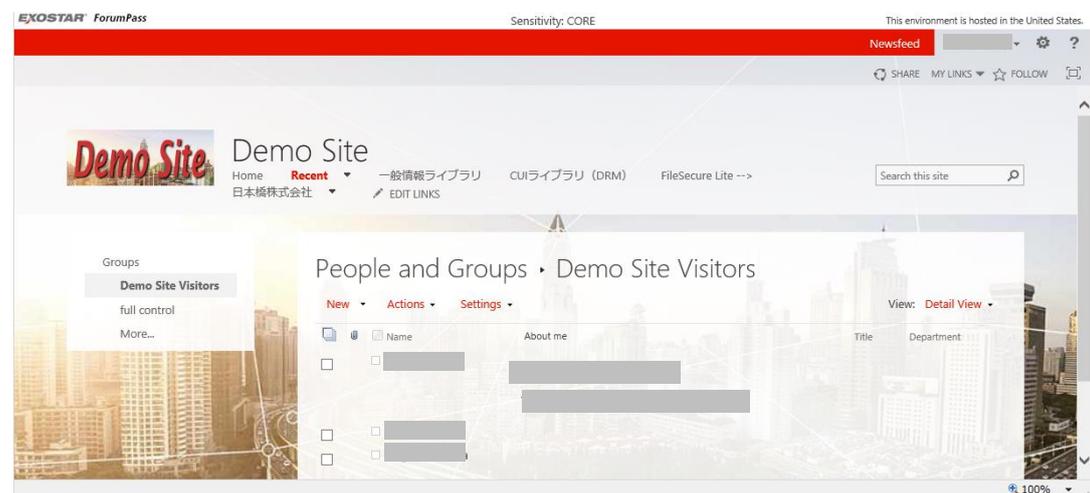
以下は、権限設定の画面例です。



フルコントロール

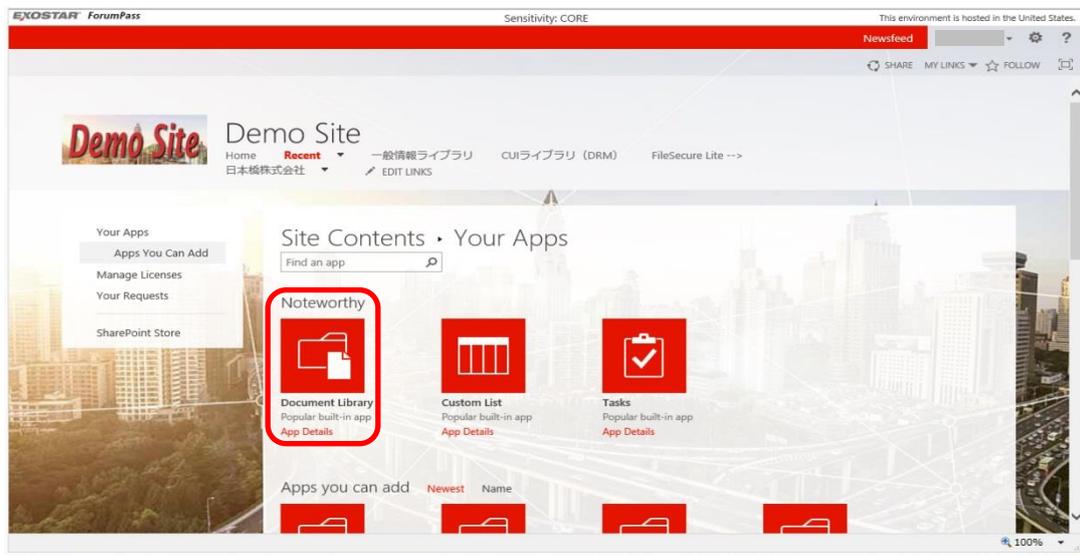


リードオンリー

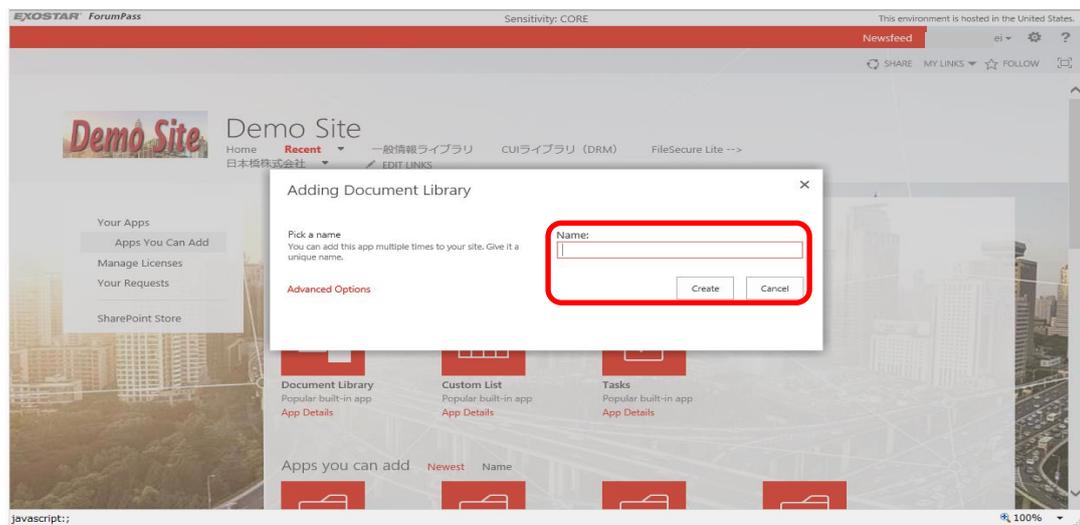


3.2.8. ドキュメントライブラリの作成

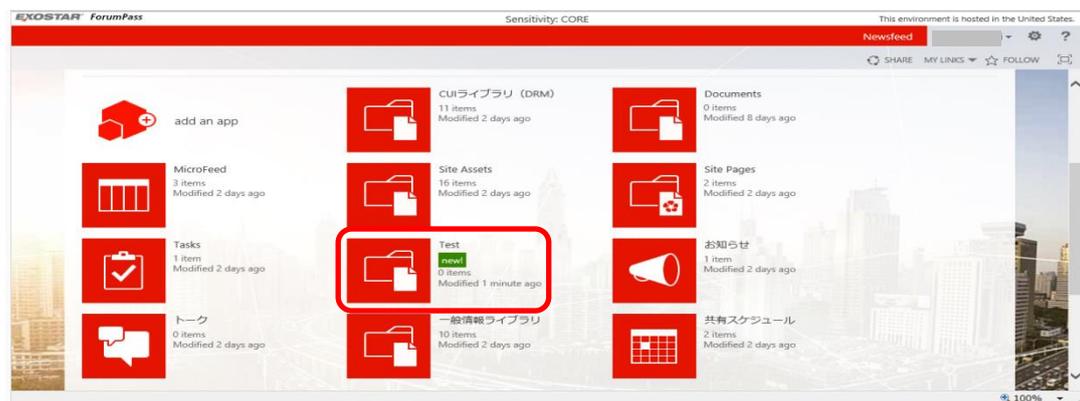
1) Document Library をクリックします。



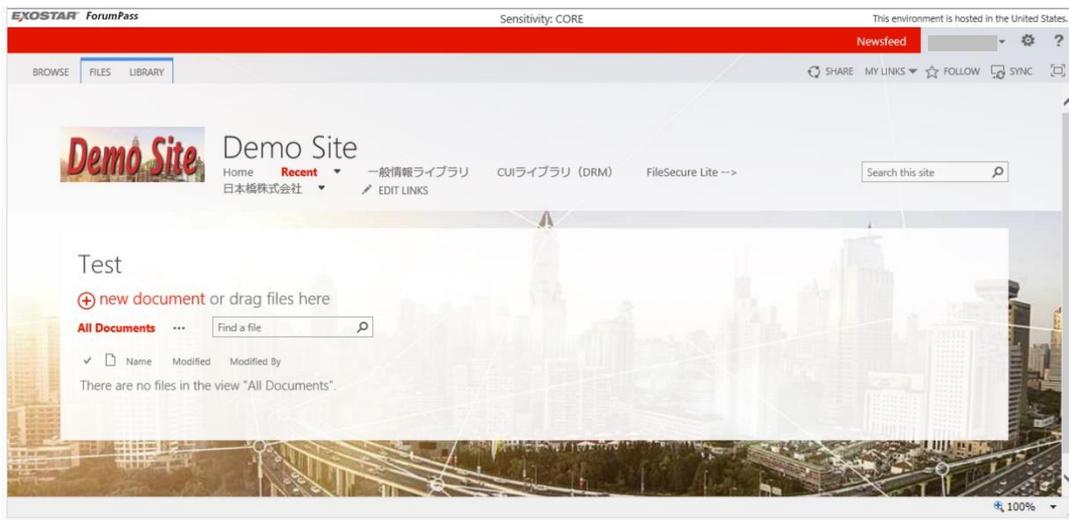
2) 名前を設定します。



3) ドキュメントライブラリが生成されます。

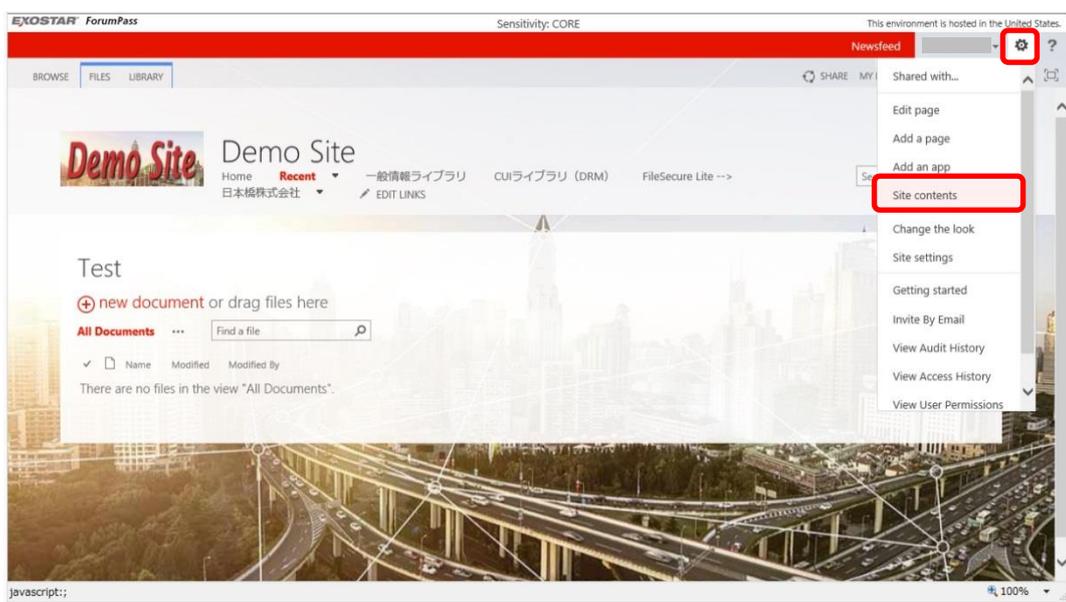


4) 生成したドキュメントライブラリを表示します。

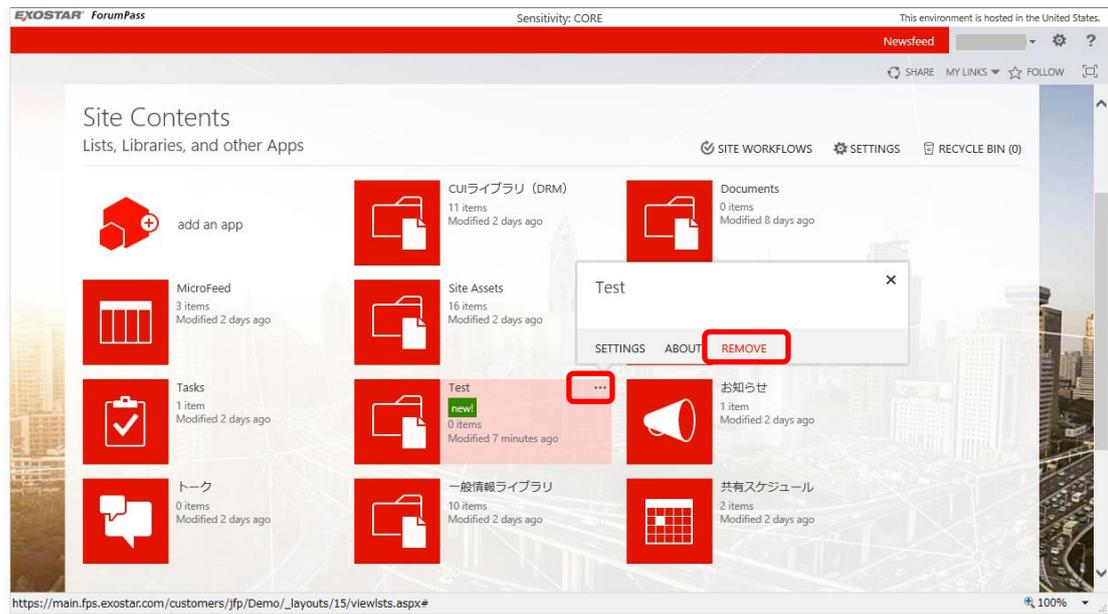


3.2.9. ドキュメントライブラリの削除

1) 右上の設定アイコンのメニューから[Site Contents]をクリックします。



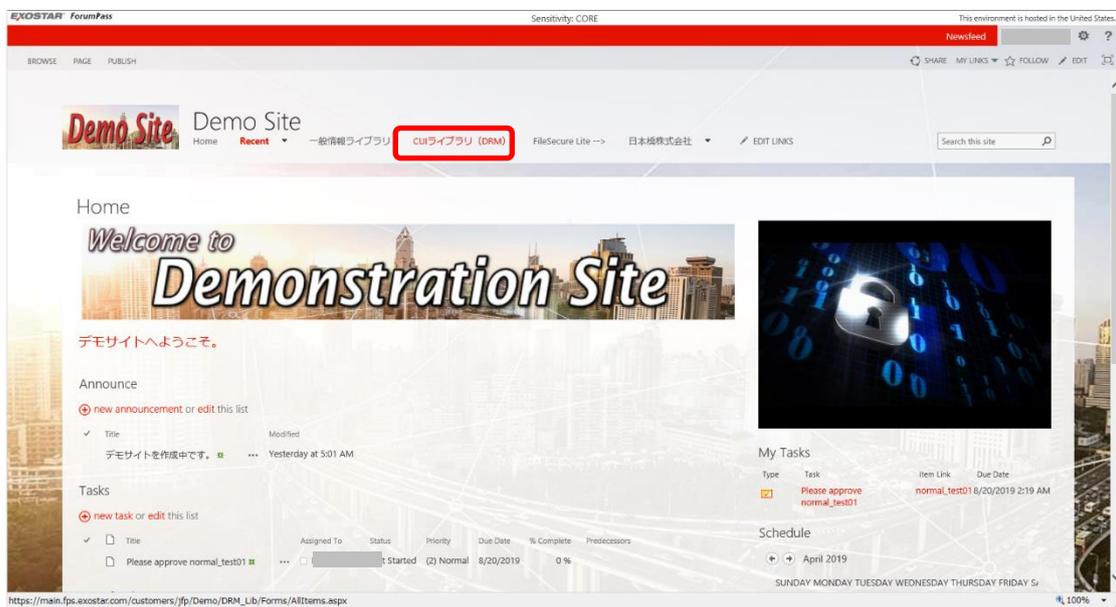
- 2) 削除したいドキュメントライブラリの右上の[...]をクリックし、[REMOVE]を選択すると削除できます。



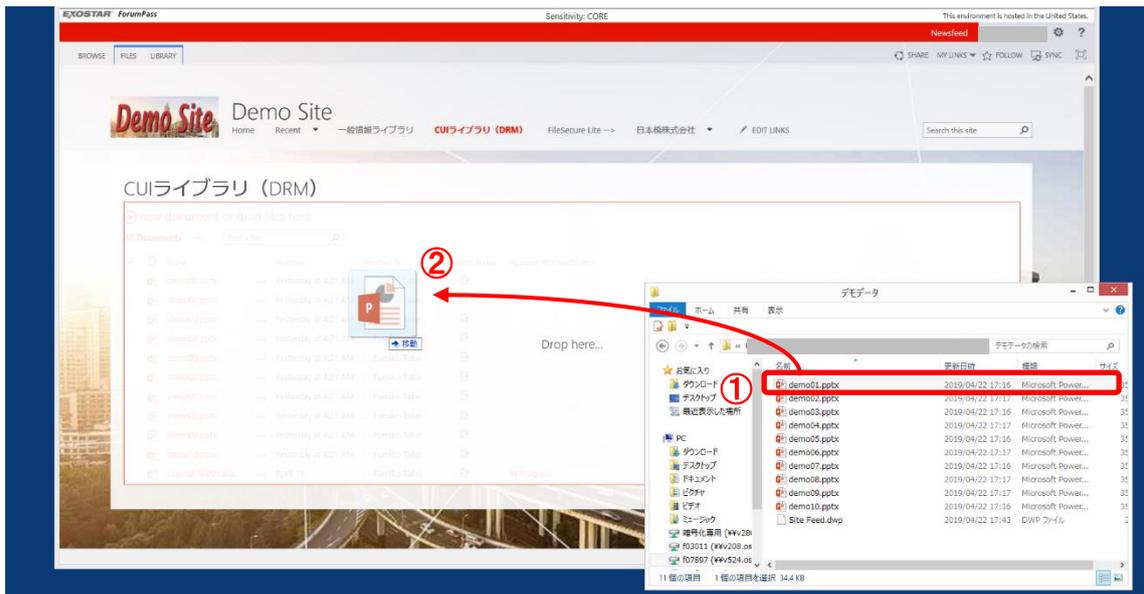
3.2.10. ファイルの登録

ファイルをドラッグアンドドロップすることでファイルの登録ができます。

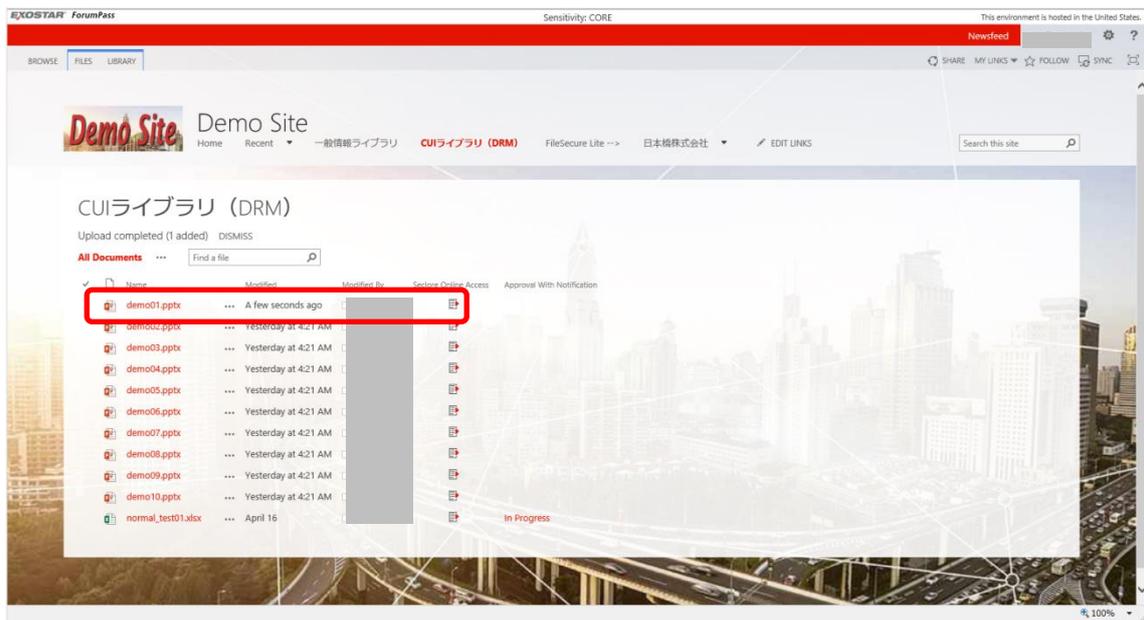
- 1) ライブラリを選択します。



2) ファイルをドロップインします。

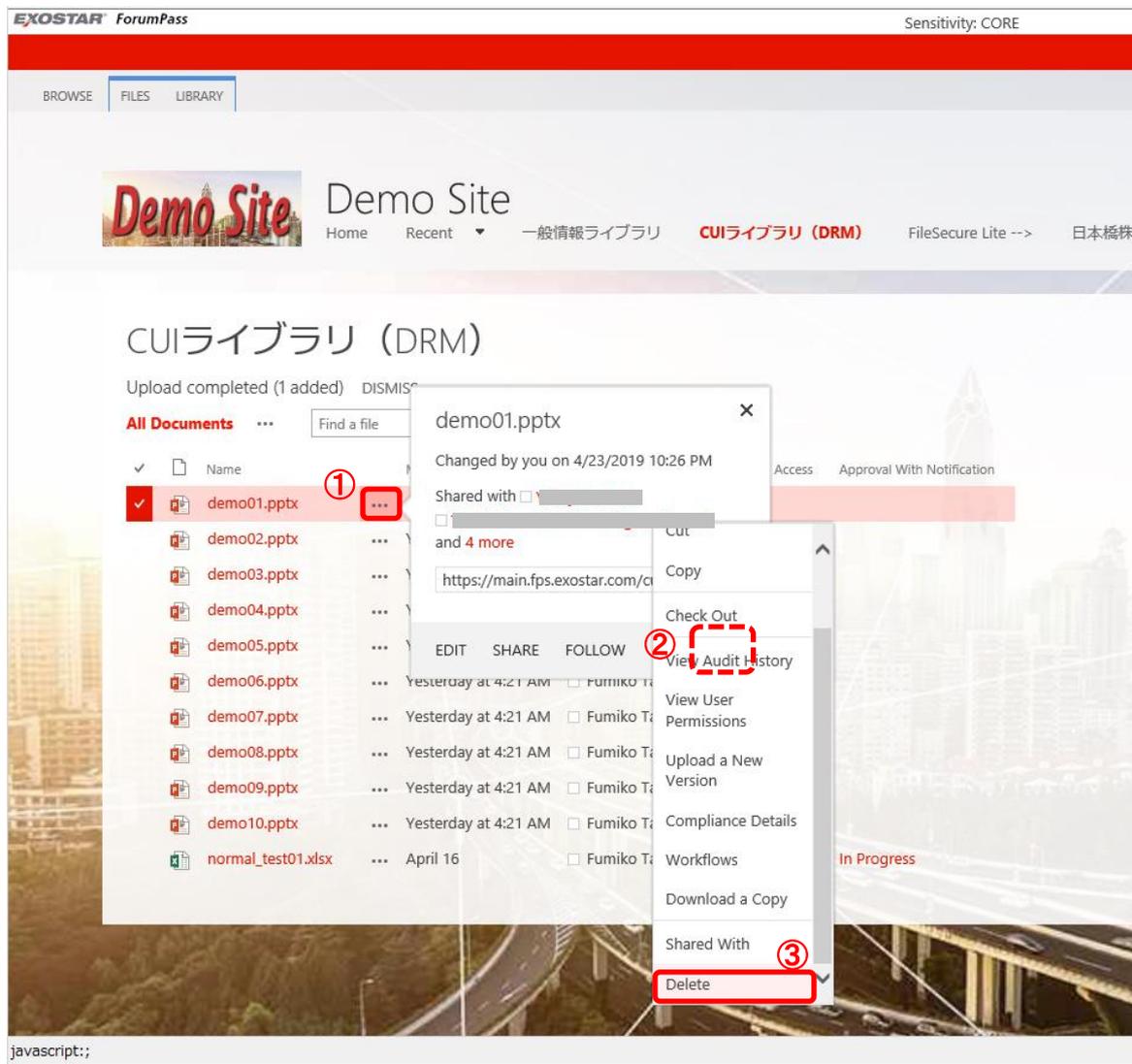


3) ファイル一覧
ドラッグアンドドロップしたファイルが登録されます。



3.2.11. ファイルの削除

ファイル名の右の[...]をクリックし、表示されたダイアログ右下の[...]をクリックし[Delete]をクリックでファイルを削除します。



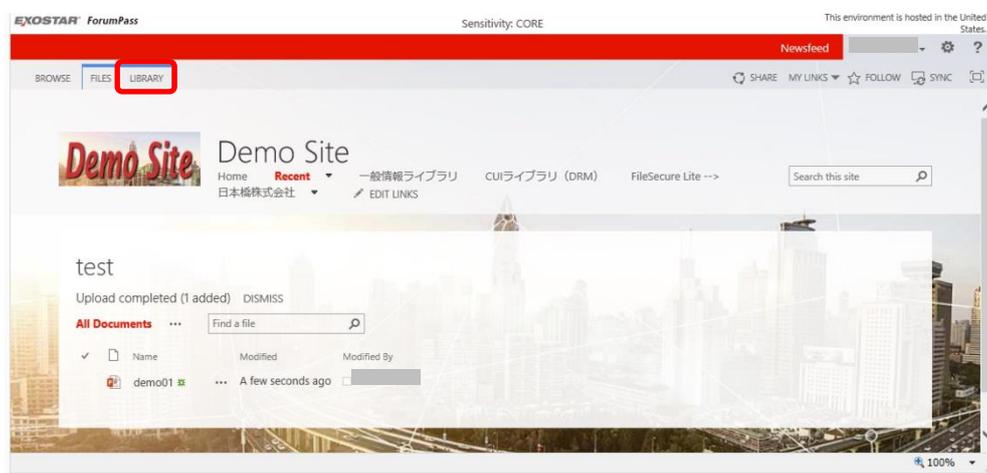
3.3. DRM とは

DRM とは、Digital Rights Management(デジタル著作権管理)の略であり、デジタルコンテンツの利用や複製を制限するために設けられている仕組みです。Exostar の DRM フォルダでは、データは暗号化され、権限設定に従ったアクセス制御を行い、データを非権限者から保護します。ダウンロードしたデータも暗号化され、2 要素による認証が検証されない限り開けません。

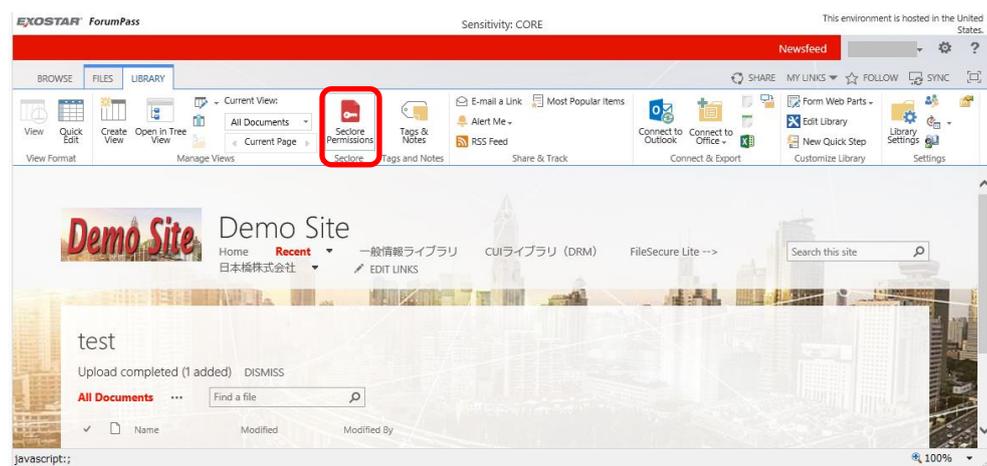
3.3.1. DRM 設定

作成したライブラリに DRM の設定を行うことで、DRM が扱えるようになります。

1) [LIBRARY]タブ選択



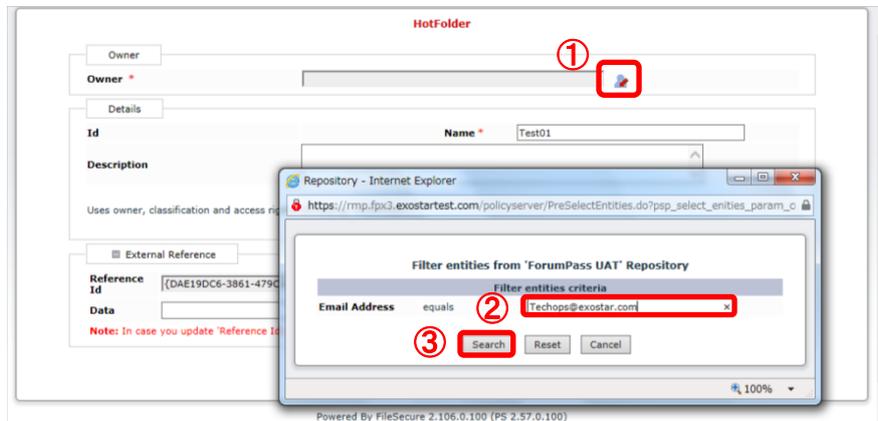
2) [Seclore Permission]設定



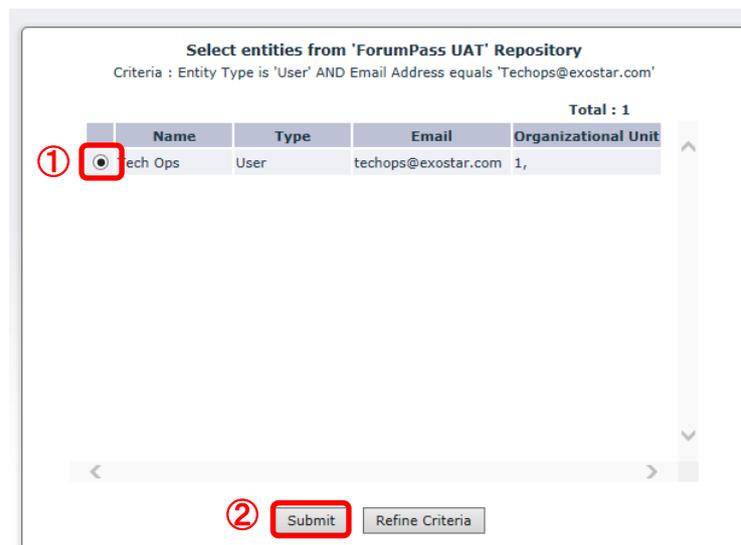
3) オーナー設定

Ownerの右端の人のアイコンをクリックし、キーを入力して[Search]をクリックします。

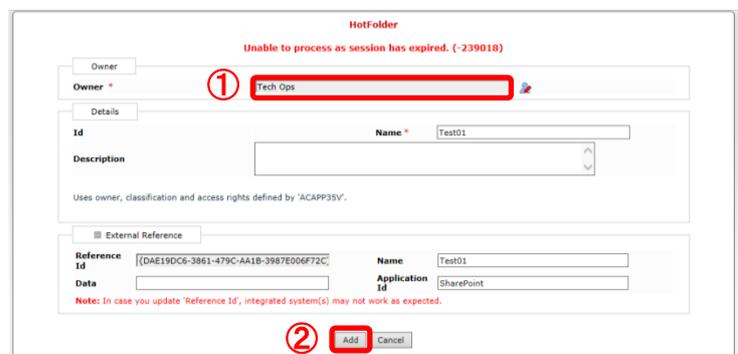
キー : Techops@exostar.com



4) オーナー選択

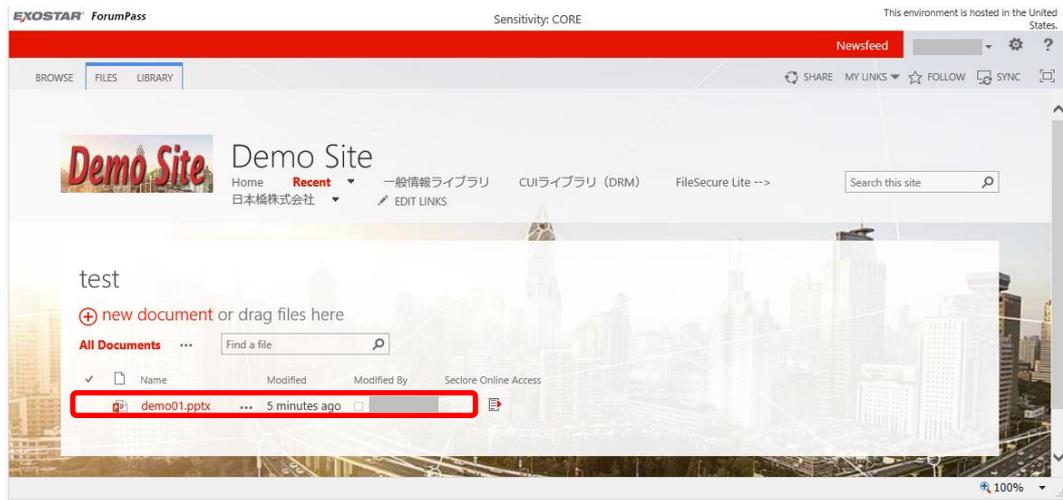


5) DRM 設定



6) DRM 設定完了

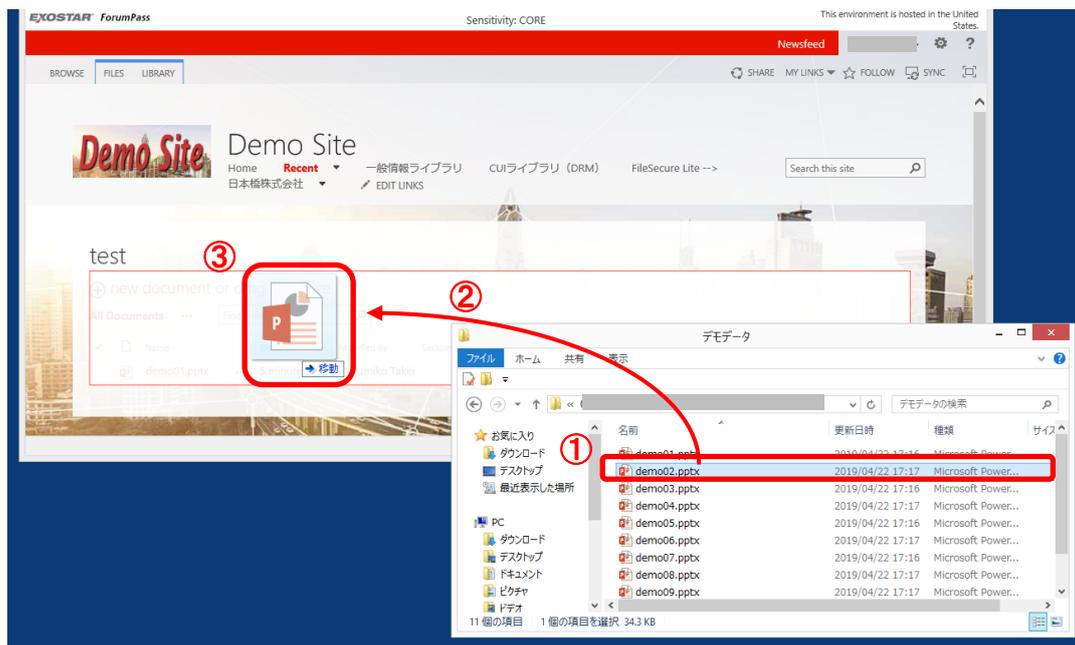
ファイルの文字色が変わっていることを確認してください。



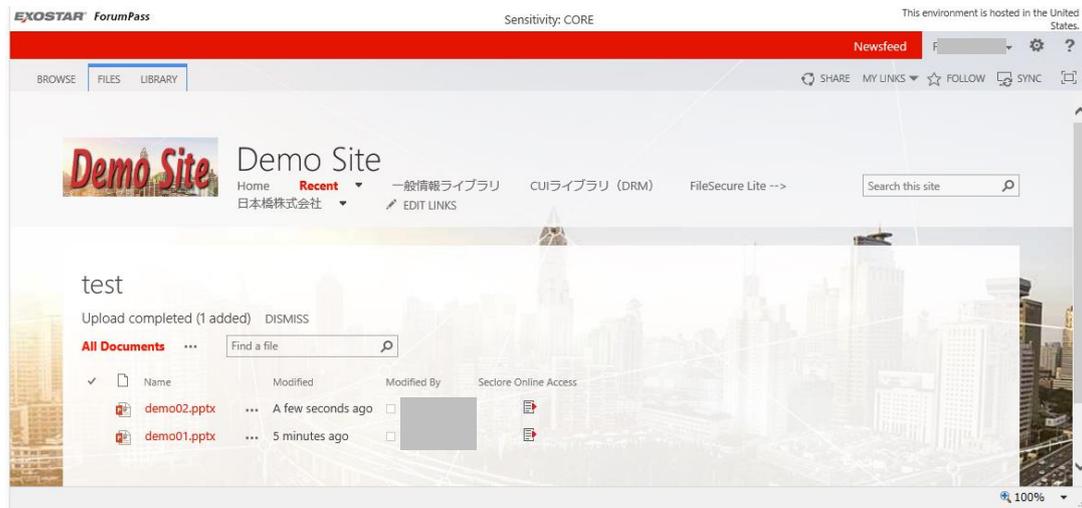
3.3.2. DRM ファイル登録

ファイルをドラッグアンドドロップすることでファイルの登録ができます。

1) ファイルをドロップインします。



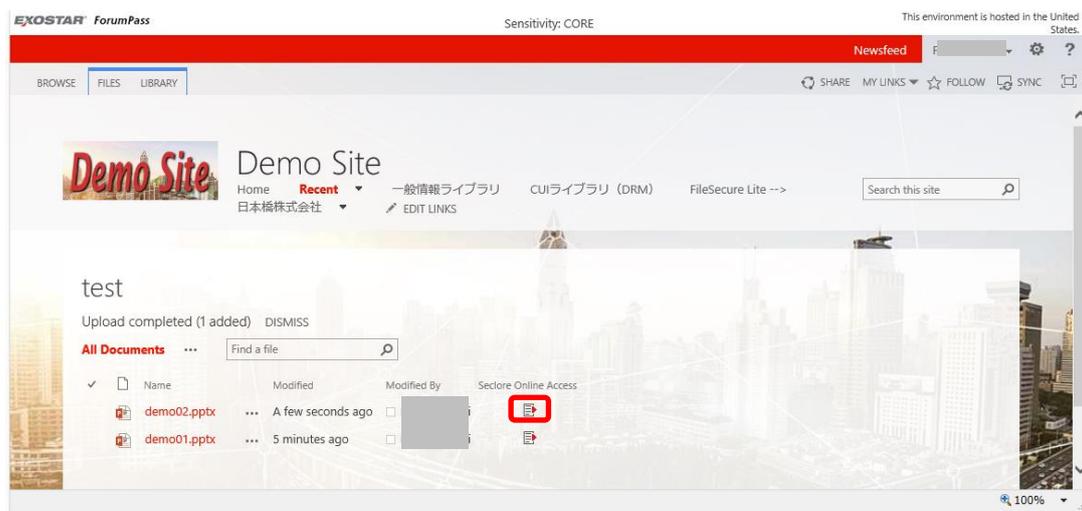
2) ファイル一覧



3.3.3. DRM ファイル表示

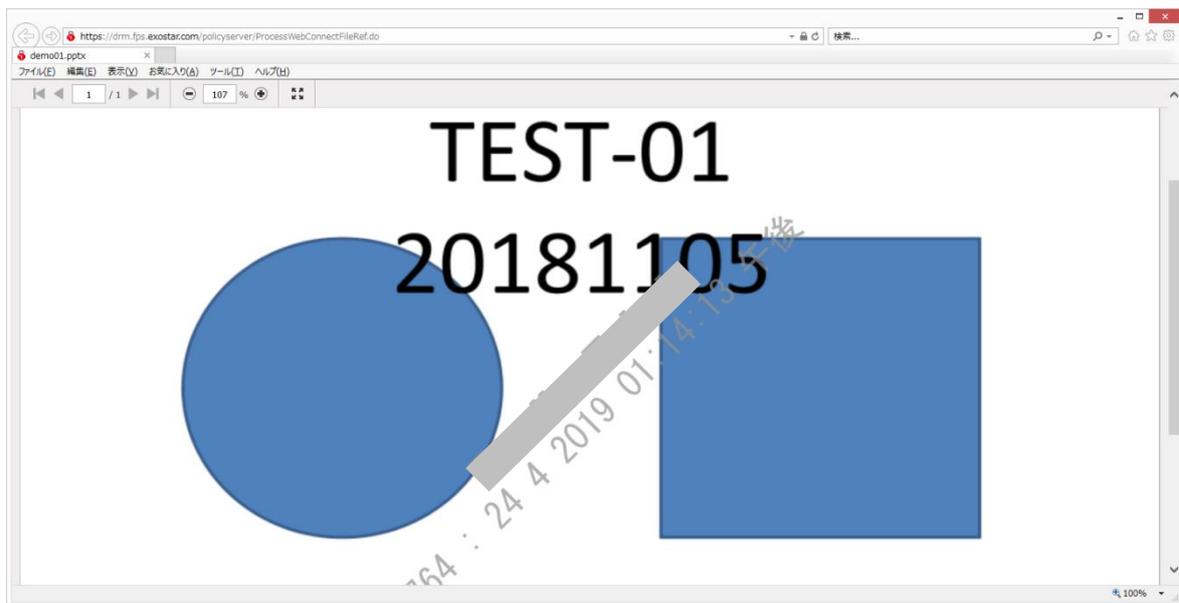
ファイル表示は Seclore のビュー(Web ブラウザ)を使用します。印刷はできません。

1) ファイル名の右端の[Seclore Online Access]アイコンをクリックします。

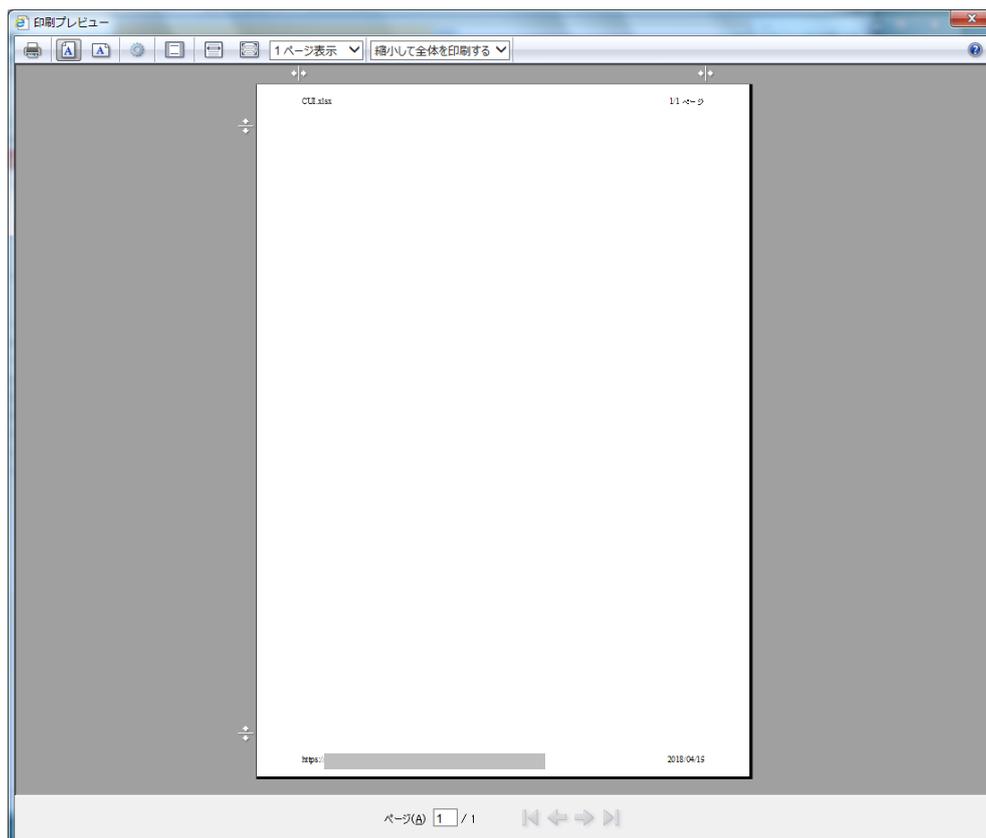


2) アカウント認証(2要素認証※)を行います。 ※ID/Password と、証明書または OTP

3) ファイルが表示されます。



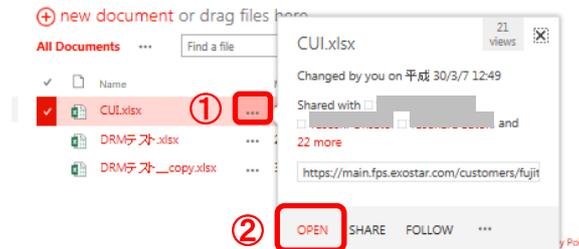
4) 印刷プレビューは表示できますが、印刷はできません。



3.3.4. DRM ファイル編集

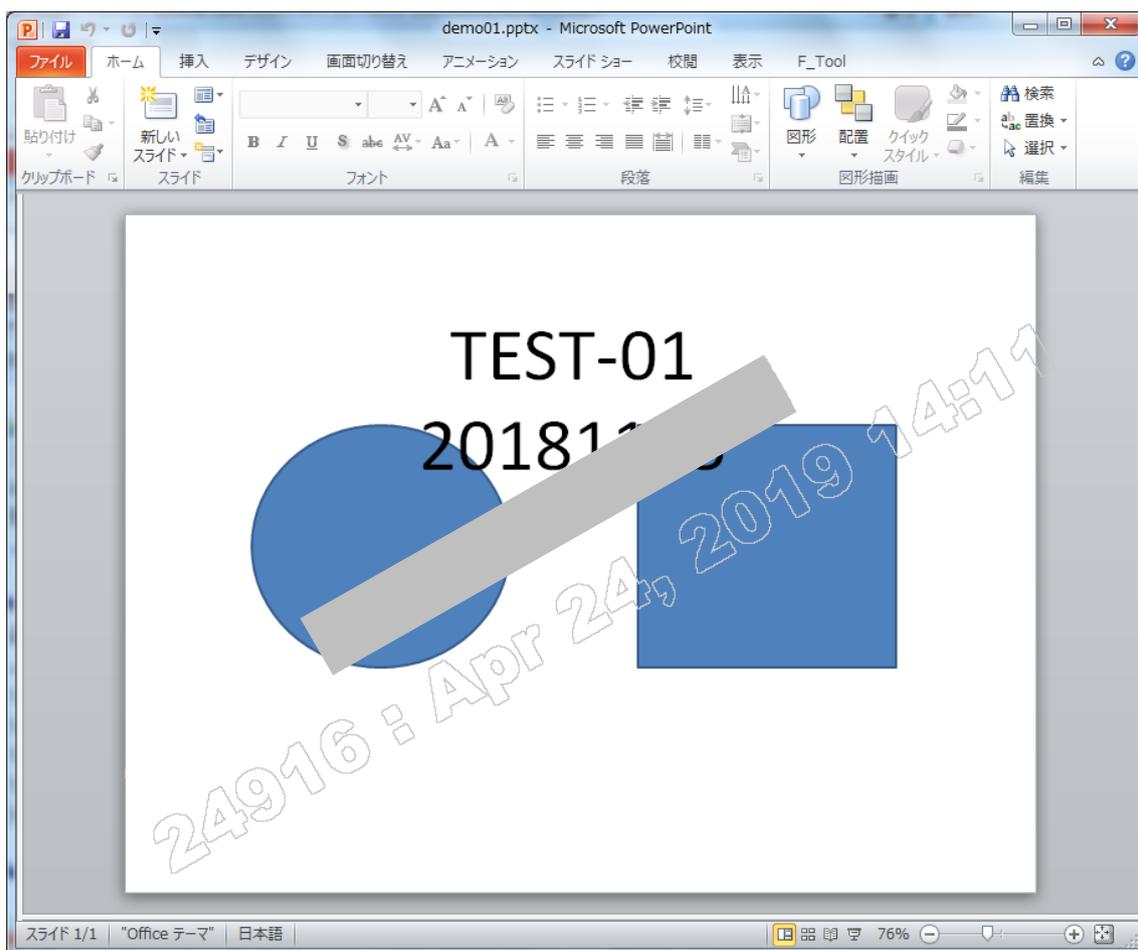
ファイルをオープンし編集・印刷するには、ツールをインストール(別紙参照)したうえで、アカウント認証が必要です。

1) ファイル名の右端の[...]をクリックし、[OPEN]をクリックしてファイルを開きます。



2) アカウント認証(2要素認証※)を行います。 ※ID/Password と、証明書または OTP

3) アプリが起動し、編集画面が開きます。



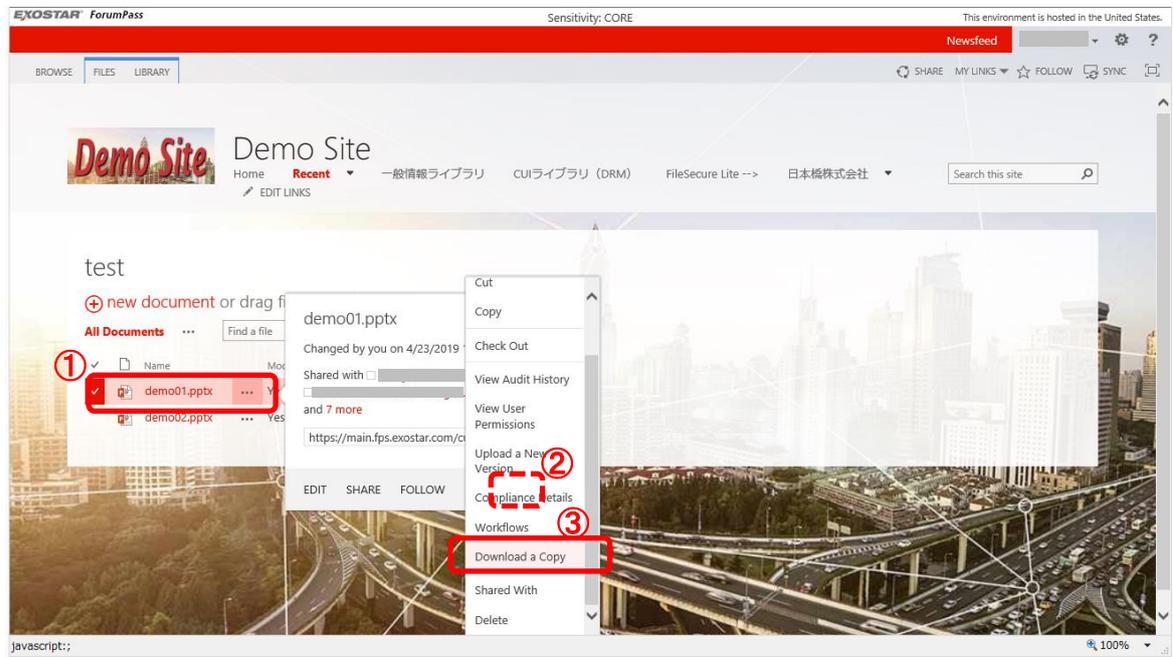
※DRM ファイルは画面、印刷ともに名前、日時の透かしが入ります。

3.3.5. ローカルコピーの利用

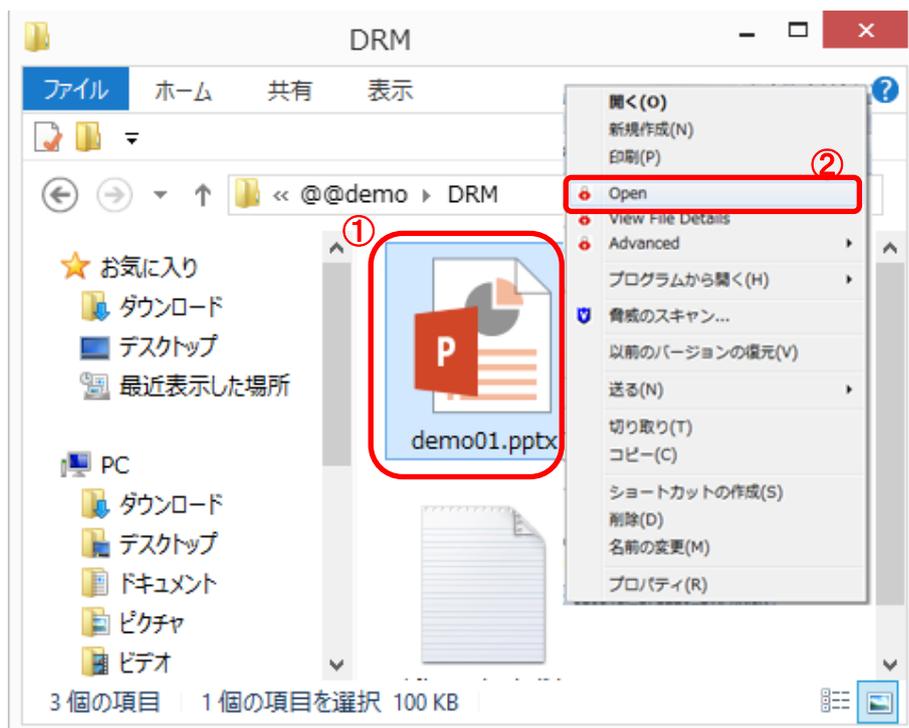
ファイルをダウンロードして、DRM 機能を有効にしたままローカル利用ができます。

1) ダウンロード&コピー

ファイル名を右クリックし、開いたダイアログの右下の[⋮]をクリックし、[Download & Copy]をクリックします。

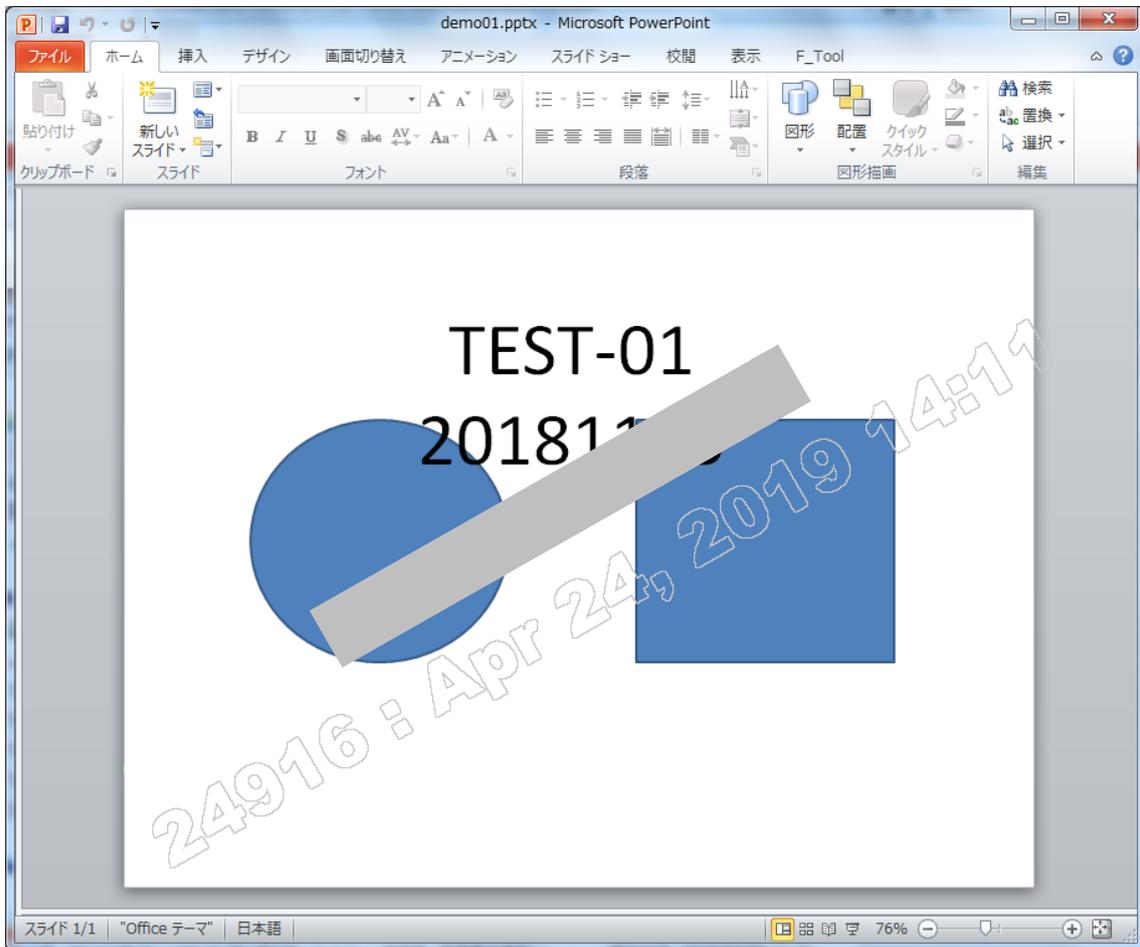


2) ローカルに保存したファイルのファイル名を右クリックし、[Open]をクリックしてファイルを開きます。



3) アカウント認証を行います。

4) アプリが起動し、編集画面が開きます。

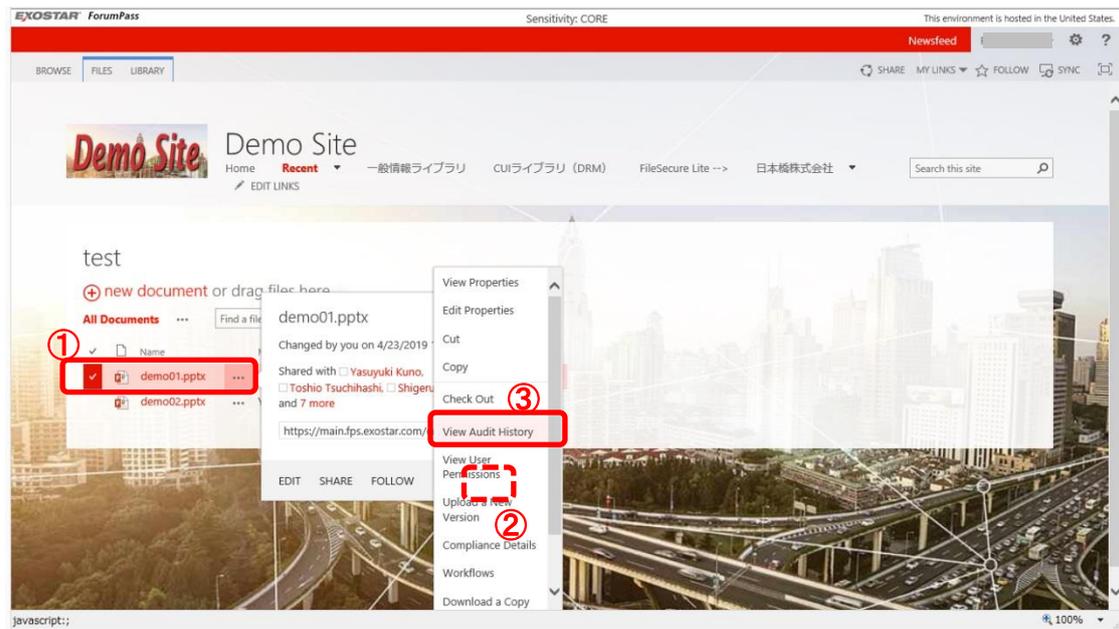


3.4. ファイル操作ログの表示

ファイルのアクセスログの確認ができます。

1) ファイルの操作ログ表示の選択

ファイル名を右クリックし、表示されたダイアログ右下の[⋮]をクリックし、[View Audit History]をクリックします。



2) ファイルのアクセスログが表示されます。

